

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	農業用施設単独災害復旧事業			
予算科目	11 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	0
記入者情報	所属長:	米井 司	担当責任者:	角田 栄治
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	農業者等(受益者)			
根拠法令等				
事業の目的	補助災害で採択できない小規模な被災箇所の復旧を行い、農業用施設の機能回復を図る。			
事業の内容	農道、水路、ため池、頭首工の機能回復			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	10,300	0	3,696
	人件費	0	2,440	0	2,440
	合計	0	12,740	0	6,136
人件費 内訳	人工数	0.00	0.30	0.00	0.30
	人件費単価	0	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	2,440	0	2,440
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	6,000	0	1,300
	その他	0	1,030	0	369
	一般財源	0	5,710	0	4,467

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	実施事業量÷被災事業量			
指標設定の考え方	被災事業量に対する実施事業量の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農村の景観保全及び農業の生産性を維持する重要な事業であるが、農業者の高齢化及び後継者不足により、復旧工事を断念する事例が発生してきた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	補助災害で採択できない小規模災害を復旧するための事業であり、農業者等の受益者からの早期復旧の要望により実施しており、今後においても引き続き事業を展開する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題